

令和4年11月24日

担当課	新型コロナウイルス感染症 対策戦略チーム	新型コロナウイルス感染症 対策本部事務局
担当者名	伊達、本多	川村、松尾
電話番号	直通:095-894-3189 内線:4664	直通:095-894-3191 内線:4808

新型コロナウイルス感染症に係る感染段階レベル等について

1. 感染段階レベルの引き上げについて

本県における新型コロナウイルス感染症については、10月下旬以降増加傾向が続いており、感染段階レベルの判断基準である病床使用率は、11月22日以降、レベル2-Iの水準である20%を上回る状況が続いています。

全国的に感染が拡大する中、本県の感染状況は今後も増加傾向で推移することが予想され、病床使用率についても上昇していくことが見込まれることから、有識者とも協議した上で、本日11月24日から、感染段階を「レベル2-I」へ引き上げ、「警戒警報」を発令いたします。

※レベル2-Iとなるのは10月6日以来49日ぶり

2. 県民の皆様へのお願い

週平均で1日あたり500人を超える感染者数が確認されており、感染のリスクが高まっています。また、これから年末にかけては、人の流れが活発になることから、更なる感染拡大が予想されるとともに、今冬は季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、県民の皆様には、以下の対策の徹底にご協力をお願いいたします。

- 自らの健康や家族・仲間などの大切な人を守るため、コロナワクチンの早めの接種に加えて、今年はインフルエンザワクチンの接種にもご協力を
- 会話時のマスク着用や三密回避、こまめな換気などの基本的な感染防止対策の徹底を
- 会食の際は、認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、感染対策の徹底を
- 感染不安や発熱などの症状があるときは、外出・登校・登園を控え、自主検査や医療機関への相談・受診を
- 高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は、家庭内でもマスクを着用するなど、特に感染対策に注意を
- 発熱などの体調不良時に備え、新型コロナウイルス抗原定性検査キット(医薬品)や解熱鎮痛薬の早めの購入を
- 医療機関や保健所への直接のお問い合わせはお控えいただき、コロナに関する一般的なお問い合わせは「コロナ相談窓口」の利用を

参考資料

感染段階レベルの 引き上げ等について

令和4年11月24日

県内の感染状況及び入院医療の状況等について

11月23日公表時点

※1 病床使用率は右記の数値に基づき算出 / 上段…緊急時の確保病床数 (下段)…現在の確保病床数

		11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23
病床 使用率 ※1	県全体	11.9% (28.0%)	13.3% (31.3%)	14.0% (32.9%)	15.0% (35.2%)	16.2% (38.1%)	16.6% (39.1%)	16.8% (39.4%)	18.3% (43.0%)	18.7% (44.0%)	19.0% (44.6%)	18.0% (42.3%)	18.7% (44.0%)	16.8% (39.4%)	19.1% (45.0%)	20.2% (47.6%)	19.3% (45.3%)	23.0% (54.1%)	24.7% (58.0%)
	長崎市	13.2% (28.1%)	14.3% (30.6%)	15.1% (32.2%)	15.9% (33.9%)	16.7% (35.5%)	19.4% (41.3%)	20.9% (44.6%)	21.7% (46.3%)	22.1% (47.1%)	22.1% (47.1%)	20.5% (43.8%)	20.2% (43.0%)	17.8% (38.0%)	17.8% (38.0%)	19.0% (40.5%)	18.6% (39.7%)	19.0% (40.5%)	21.7% (46.3%)
	佐世保市	16.6% (49.1%)	20.1% (59.6%)	21.3% (63.2%)	22.5% (66.7%)	24.3% (71.9%)	22.5% (66.7%)	23.1% (68.4%)	27.2% (80.7%)	24.9% (73.7%)	29.6% (87.7%)	26.6% (78.9%)	26.0% (77.2%)	24.9% (73.7%)	28.4% (84.2%)	29.0% (86.0%)	26.6% (78.9%)	36.7% (108.8%)	36.1% (107.0%)
重症病床使用率		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%
新規感染者数 (10万人/週)		463人 (237.9人)	185人 (241.1人)	676人 (241.1人)	560人 (243.0人)	533人 (244.1人)	516人 (273.9人)	525人 (263.6人)	493人 (265.9人)	220人 (268.5人)	762人 (275.1人)	598人 (278.0人)	510人 (276.2人)	571人 (280.4人)	513人 (279.5人)	443人 (275.7人)	231人 (276.5人)	859人 (283.9人)	770人 (297.0人)

指標	レベル1 (注意報)	レベル2-I 警戒警報	レベル2-II 特別警戒警報	レベル3 危機事態警報	レベル4 緊急事態宣言
病床使用率	-	20%	35%	50%	100%
社会機能の制限状況	-			一般診療や福祉サービス等への深刻な影響	

入院患者数と病床使用率(医療圏別)

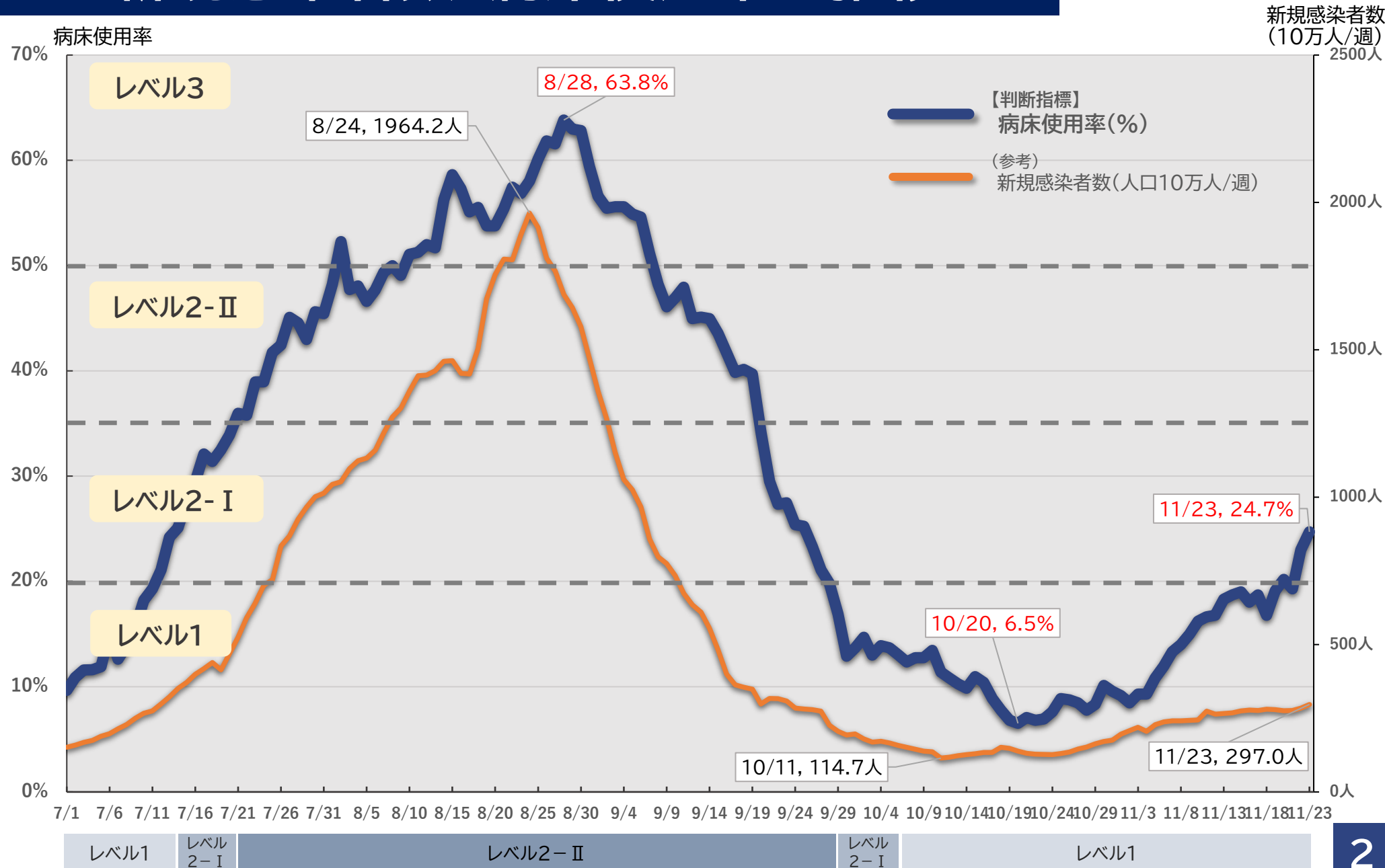
※2 上段…緊急時の確保病床数 (下段)…現在の確保病床数

医療圏	長崎	佐世保県北	県央	県南	本土計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院患者数	56	61	27	17	161	8	1	4	4	178
病床数※2	258 (121)	169 (57)	112 (54)	74 (36)	613 (268)	30 (10)	19 (7)	26 (10)	33 (12)	721 (307)
病床 使用率※2	21.7% (46.3%)	36.1% (107.0%)	22.3% (50.0%)	23.0% (47.2%)	26.3% (60.1%)	26.7% (80.0%)	5.3% (14.3%)	15.4% (40.0%)	12.1% (33.3%)	24.7% (58.0%)
フェーズ	3	3	3	3	-	2	2	2	2	-

- 入院患者:重症1名、中等症・軽症177名
- 施設療養者:243名
- 宿泊施設療養者:80名
- 死亡者数(累計):348名(80代以上が7割超)

県内感染者数(累計)
232,489名

新規感染者数・病床使用率の推移



感染段階レベル

- 判断指標である県全体の病床使用率は20%を超過
- 全国的に感染が拡大する中、今後も本県の新規感染者数は増加傾向で推移することが予想され、病床使用率についても上昇していくことが見込まれる

▶ 11月24日から県内の感染段階レベルを **2-I** に引き上げ

	レベル1	レベル 2-I	レベル 2-II	レベル3	レベル4
警報等	(注意報)	警戒警報	特別警戒 警報	危機事態 警報	緊急事態 宣言 (独自)
<指標> 病床使用率	—	20%	35%	50%	100%

ワクチン接種にご協力ください

コロナの感染拡大を防ぐためにはワクチン接種の進展が重要です

● オミクロン株対応ワクチンの接種促進

- 全ての市町においてオミクロン株対応型ワクチンの接種が進められています
- 接種できる時期になりましたら早めの接種をお願いします
 - ※ 19の市町ではBA.4/5対応型ワクチンを優先して使用しております
 - ※ 各市町で接種できるワクチンは県ホームページで公表しております
- 県の接種センターでの接種もご検討ください

予約受付開始	会 場 (4か所)
11月 1日～	長崎会場 (長崎県庁 1階エントランスホール)
	佐世保会場 (レオプラザホテル佐世保)
	諫早会場 (トランスコスモススタジアム長崎)
11月 18日～	島原会場 (島原文化会館)

※県接種センターは現在BA.1対応型ワクチン(今後BA4/5へ切替予定)

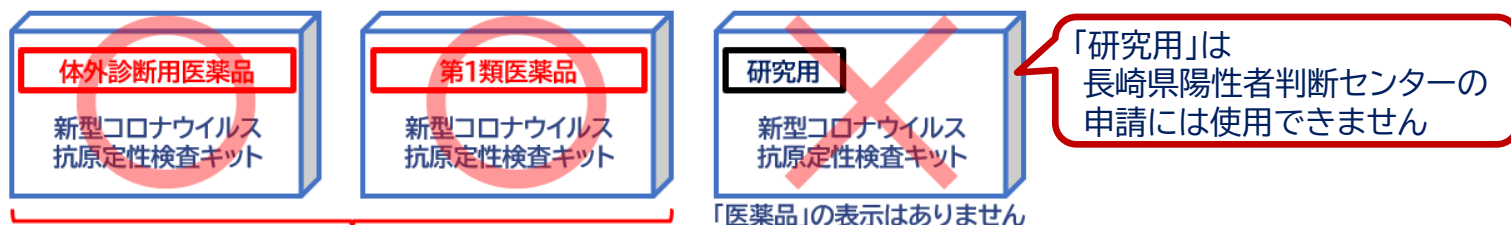
● インフルエンザワクチンの接種についてもご検討ください

新型コロナウイルス抗原定性検査キット(医薬品)は 薬局(薬剤師)に相談し購入して下さい

- **新型コロナウイルス抗原定性検査キットは、国が承認した「医薬品」を使いましょう**

「研究用」と称して販売されている抗原定性検査キットは、国が承認した「医薬品」ではなく、性能等が確認されたものではありません

- **国が承認したキットには、【体外診断用医薬品】又は【第1類医薬品】と表示されています**



購入時に薬剤師から使い方などについて説明があります

(注)○×は承認の有無を示します

抗原検査キット(医薬品)の販売薬局は県のホームページをご参照ください

長崎県抗原検査キット販売

検索



※一部の(薬剤師がいる)ドラッグストアでも購入可能です

- **発熱などの体調不良時に備えて早めに購入しておきましょう**

- **新型コロナウイルス抗原定性検査キット(医薬品)**
- **解熱鎮痛薬**

※今年の冬はコロナとインフルエンザの同時流行が懸念されます

同時流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります

- ・「コロナ?」「インフルエンザ?」速やかな判断のため、あらかじめの検査キットの準備をお願いします
- ・インフルエンザの場合、治療薬の十分な効果を得るためには発症後48時間の服用が必要です

保健・医療提供体制を守るため

医療機関や保健所への直接の
お問い合わせはお控えください

- コロナに関する一般的なお問い合わせについては『**コロナ相談窓口**』をご利用ください

コロナ相談窓口

050-3665-8101 (24時間対応)

〈対応内容〉

- ✓ コロナに関する一般的な相談
- ✓ 健康相談等に関する相談
- ✓ 後遺症に関する相談 等

※ 発熱などの症状がある場合で、受診先に迷う場合は受診・相談センター(0120-071-126)へご相談ください(24時間対応)

基本的な感染対策等の徹底について

感染が徐々に拡大しており、身の回りに潜む感染リスクが高まっています。県民の皆様には、以下の対策の徹底にご協力をお願いいたします。

- 会話時のマスク着用や三密回避、こまめな換気などの基本的な感染防止対策の徹底を
- 会食の際は、認証店を利用し、マスク会食や密にならない工夫など、感染対策の徹底を
- 感染不安や発熱などの症状があるときは、外出・登校・登園を控え、自主検査や医療機関への相談・受診を
- 高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は、家庭内でもマスクを着用するなど、特に感染対策に注意を